ホームページでの情報発信を強化！
～地域で活用されるホームページをめざして～

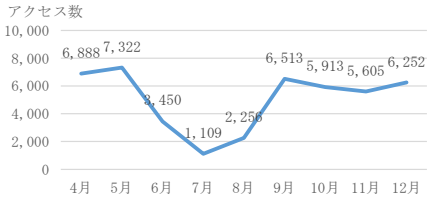
情報担当

（広域推進　情報・クリーン・有機）

◆活動年次：令和５年度
◆対象：普及センター職員他

１　課題の背景

ホームページ（以下：HP）の作成は、職員の「業務」に組み込まれず、担当者が個人で抱え込み、更新作業が滞りがちになります。
更新作業が滞ると、アクセス数が伸びず、さらにHPの作成に力が入らなくなる、という悪循環に陥ります。



2022年　ＨＰアクセス数

情報担当

HPを更新しなかったら、アクセス数が落ち込んだ・・

２　活動の経過

職員1人1人がHP作成を普及業務の１つとして認識するよう、次のような活動を行いました。
①HP検討会の開催（担当者３名）
②HPの方針・メニュー構成等の作成
③HP作成研修会の開催（本所・西部支所）
④HP作成について積極的な働きかけ（情報担当者会議等）

３　活動の成果

HPの方針
- 地域振興・農業経営に有効な情報の提供
- 魅力ある地域・農業の発信
- 普及活動のPR

R5 日高農改HPメニュー案	
メニュー	子メニュー
トップページ	
注目情報	
地域トピックス	2023
	2022
	2021
	2020
普及活動	活動体制
	重点・一般活動
	行事の告知
	普及センターだより
営農技術情報	農作物生育状況調査（振興局リンク）
	気象情報
	農作物生育・技術情報（西部支所）
	日高の野菜・花き生育情報（本所）
	飼料作物情報（本所）
	刊行物
日高管内農業者の活動	指導農業士・農業士会
	日高農業生産法人会
	スマイルトマト
	馬女ネット
	YUYUネット
	農業ゼミナール
	4 HC
	GAP・有機
日高の情報	すごいっしょ！ひだか
	きれいっしょ！ひだか
	うまいっしょ！ひだか
	就農支援制度（課題解決）
	GAPパシフ（課題解決）
	日高地域農業統計（パンフ）
スマート農業	
関係機関リンク	

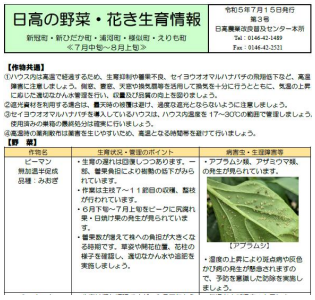
情報担当

方針を情報担当者会議で共有し周知

HPの内容について、担当者でアイディア出しをしました。

情報担当

アイディアをHPの構成に落とし込んで、職員で共有！


日高の野菜・花き生育情報
新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
≪７月中旬～８月上旬≫

令和５年７月１５日発行
第３号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2531

【作物共通】
①ハウス内は高温で経過する恐れ。生育初期や養果不良、セイヨウオオマルハナバチの飛翔低下など、高温障害に注意しましょう。側窓、妻窓、天窓や換気扇等を活用して換気を十分に行うとともに、気温の上昇に心がけて適切なかん水管理を行い、収量及び品質の向上を図りましょう。
②逆光曇りを利用する薄日は、曇天時の栽培は避け、過度な遮光とならないように注意しましょう。
③セイヨウオオマルハナバチを導入しているハウスは、ハウス内温度を17～30℃の範囲で管理しましょう。使用薬剤の車輪の農純化分は確実に行いましょう。
④高温時の薬剤散布は薬害を生じやすいため、高温となる時間帯を避けて行いましょう。

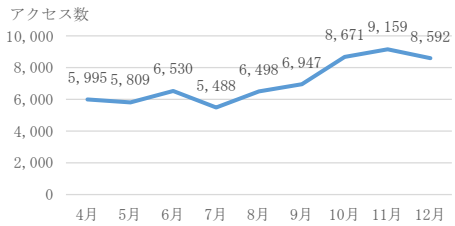
【果　菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	・生育の遅れは回復しつつあります。一部、曇天時により樹勢の低下がみられています。 ・作業は主枝７～１１節目の収穫、整枝が行われています。 ・６月下旬～７月上旬をピークに尻腐れ果・日焼け果の発生が見られています。 ・曇天時が続えて株への負担が大きくなる時期です。草炭や開花位置、花柱の様子を確認し、適切なかん水や追肥を実施しましょう。	・アブラムシ類、アザミウマ類、の発生が見られています。 【アブラムシ】 ・温度の上昇により斑点病や灰色かび病の発生が懸念されますので、予防を重視した防除を実施しましょう。

園芸営農情報　令和５年１１月　ＪＡＣＯ　日高農業改良普及センター
＜冬季の対策は大丈夫ですか？＞

2023年は暖冬と予報されており、降雪時には凍った重い雪になることが懸念されます。2018年(平成30年)には、日高管内でも局所的に大雪となり、多数のハウスが被害を受けました。普及センターでは、冬季の降雪に対する対策資料を作成しておりますので、参考にして下さい。
https://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nko/201811oowaki-kaiseikiki-oisaku.html
各所の点検や準備を行い、降雪に備えましょう。

降雪被害を回避するチェックリスト



2023年　ＨＰアクセス数

情報担当

定期的な技術情報の掲載や、FAX情報にHPの2次元バーコードを使い、より深い情報提供が行われました

HPのアクセス数が9000を超えました！

４　今後の対応

より地域に活用されるHPをめざし、農業者へのホームページ周知方法を検討します。